

令和6年（2024年）11月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（４日目）

令和6年12月10日(火)

※1人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	清 水 磨 男 (立憲民主・社民・ニライ)	1 教育行政について	(1) パーカー制服の導入について伺う (2) 文部科学省は、教育委員会の「教育方針」等や、市長が策定する「大綱」など、これらに外国人児童生徒等教育を確実に位置付けるよう求めているが、那覇市の現状を伺う (3) 学校給食の栄養素は、国が定める学校給食摂取基準を満たしているのか伺う (4) 副市長がSNSにて「実質的に我が国の次の総理大臣を選出する」演説会とし、市長以下の認識として、そうであると繰り返し代表質問に答弁された選挙において、石破総理大臣は公約のひとつに「給食費無償化」を掲げられた これを受けて、那覇市から国に早急な給食費無償化を実現するよう、代表質問にて問うたところ、副市長は「公約全てを何か是認するということではない」、「掲げた政策全てについて同様の考えを我々が持っていて、同様に要請をしていくということにはならない」として、総理大臣の公約と、那覇市の考えは異なる趣旨の答弁をなされた これは、那覇市として給食費無償化の考えを持っていない、ということか伺う
	質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	2 食と行政について	過去の経済観光部長の答弁で、サーターアンダギーなどの品々を挙げて、那覇生まれの特産品としてブランド化を図っていくことは、認知度向上、消費拡大、本市の産業振興の発展につながる とある そこで改めて、沖縄そばやサーターアンダギーは那覇が発祥であるのか伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		3 行政改革について	(1) 那覇空港の民営化について、那覇市の考えを伺う (2) 2016 年 2 月定例会で、祖父母手帳を提案したが、孫休暇の導入について伺う (3) 那覇市出身で、ニューヨークで活躍する写真家の写真展が、那覇市内で開催されている同氏を含め、世界で活躍する那覇市出身者との具体的な連携、表彰など既存の仕組みとは別に、新たに仕組みを検討すべきと提案するが、那覇市の考えを伺う (4) 旗頭のまち宣言をしている那覇市は、電線地中化を急速に進めるべきことが、実際に旗頭の活動に取り組めば明らかであるが、那覇市の考えを伺う (5) 那覇市における、家計相談支援事業の状況を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
2	古 堅 茂 治 (日本共産党)	1 豪雨対策等 について	(1) 国頭村、東村、大宜味村など本島北部豪雨による被災者に心からお見舞いを申し上げるとともに、復興へ向けて力を尽くしておられる皆様に深く敬意を表する。いま、国頭村出身者郷友会「北斗会」をはじめ多くの人々が義援金など支援に取り組んでいる。被災を受けた国頭村、東村、大宜味村の３村は那覇市民 31 万余人をはじめ、県民と観光客などの飲料水を供給する水がめ・水源地として極めて重要な役割を担っている。命をつなぐ水の確保へ、かけがえのない恩恵を受けている３村の被災に対する本市の支援を問う (2) 本市の豪雨に対する備え、課題について問う (3) 2013 年 6 月定例会（6 月 17 日）の一般質問で首里石嶺町の被災住民のお一人から寄せられた市当局と議員に対する憤りの声を紹介して、浸水問題解決を求めて 11 年余となる。質問を受け答弁に立った故・翁長雄志元市長の英断で着手した首里石嶺町 4 丁目の浸水被害軽減雨水貯留施設建設がついに完成し、いよいよ稼働する。ご尽力された故・翁長元市長、上下水道局、土地確保に協力された関係者に心から敬意と感謝を表する。事業の概要、効果及び課題を問う
		2 平和行政について	本年 6 月定例会（6 月 18 日）の一般質問で広島市の被爆 80 周年記念事業の取組も紹介して、本市の沖縄戦 80 周年記念事業の取組の拡充と基本方針の確立を求めた。9 月定例会（9 月 13 日）でも那覇大綱挽まつりの活用を提案した。当局の対応について問う
		3 文化行政について	(1) 本年 9 月定例会（9 月 13 日）一般質問で首里染織館 s u i k a r a の設置目的と現状、課題を質し、伝統工芸の振興発展へ積極的に連携しての支援を求めた。今回の支援の補正予算を評価する。沖縄の染め織りの魅力

質問方式
一問一答方式
(質問席のみ)

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 土地区画整理事業について	を発信する首里染織館 s u i k a r a は、那覇伝統織物事業協同組合・琉球びんがた事業協同組合とともに市民・県民が守っていかなければならない大きな財産である。見解を問う (2) 2012 年 2 月定例会 (3 月 10 日) の個人質問で「中城御殿の復元を実現させ、尚家第 22 代当主尚裕氏から寄贈を受けて那覇市が所有する国宝琉球国王尚家関係資料を尚家関係者や専門家・関係機関らと協議し、中城御殿で常時公開できるようにすべき」と提案してきた。首里城の再建とあわせて 2026 年秋に復元・供用される中城御殿で 2012 年の私の提案が実現する。中城御殿で担う本市の役割について問う (3) 2020 年 11 月定例会 (12 月 9 日) で首里城を救った人間国宝、染色家で沖縄文化研究家の鎌倉芳太郎氏の多大な功績を讃え、那覇市名誉市民として顕彰すべきと提案した。本市議会は、翌年 2021 年 3 月 22 日に「故鎌倉芳太郎氏を那覇市名誉市民に追贈し顕彰することを求める決議」を全会一致で採択している。首里城再建とあわせた顕彰への取組を問う 真嘉比古島第一地区土地区画整理事業を巡る地権者と本市の争いでは、最高裁で「著しく不利益、不公平で、必要な造成工事を完了しない換地処分は土地区画整理法第 89 条、第 103 条違反」と本市の行政行為の「違法」が確定している。ところが敗訴した本市の不誠実極まりない対応で問題解決に至らず争いがいまだに続いている。違法・人権侵害への反省が欠如し、議会答弁でもごまかしに終始し開き直っている本市の姿勢は言語道断である。そこで、都市建設環境常任委員会は 10 月の視察で土地区画整理事業の在り方などについて、国土交通省で関係部署の課長など 6 人の職員に面談しレクチャーを受けてきた。大事な示唆を得ることができた。そこで、真嘉比古島第一地区土地区画整理事業での既存石積み不適格擁壁の残置数を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		5 法令遵守、 コンプライア ンス、公益通 報等について	土地区画整理事業の違法・不公平、管理職による市長の政治資金パーティー券販売、指導監督ミスによる認可外保育所での乳児死亡事故、市施設での有機フッ素化合物（PFOS・PFOA）使用、那覇市・南風原町環境施設組合で技術管理者の配置問題に関して職員から提訴、トップダウンでのなは一との目的外の休日使用、不適正な問題が続いている。そこには看過できない様々な問題が内包されている。魚も組織も頭から腐ると言われている。職員の倫理、コンプライアンス、公益通報等に関する条例制定が強く求められている。見解と対応を問う 【答弁を求める者】 市長、副市長、上下水道事業管理者、 関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
3	中 村 圭 介 (無 所 属)	1 選挙行政について	インターネット選挙の解禁から 10 年以上が経過し、選挙のありようが急速に変化してきた。今後、選挙管理委員会が果たすべき役割はますます大きくなると考える 差し当たり選挙時に信頼できる情報に容易にたどり着けるようにするために、選挙公報のさらなる活用が必須であると考え。選挙管理委員会が直接調査、発信、アーカイブすることで、信頼できる情報を有権者は得られるようになる 来年に迫った那覇市議会議員選挙の際に、候補者の裁量で作成する記事のほかに、選挙管理委員会が、各人の立候補に向けた手続きを進める中で、独自の調査票を配布、回収し「目指す那覇の姿」「そのために優先して取り組むこと」などを簡潔にまとめた投票の判断材料となるような「政治姿勢が一覧できる記事」を作成できないか。見解を問う
		2 墓地行政について	11 月 30 日に、沖縄のお墓についてのシンポジウムが開催され、その中で、改葬が増加する昨今、急増が懸念される無縁墓の課題に対応するための 6 つの提言が出された。市街地に多くの個人墓を抱え、都市計画マスタープランや環境基本計画でも市民共同墓を活用した無縁墓地や空き墓の適正な管理の推進を目指す那覇市としても、環境部にとどまらず部署横断的な取組が求められている。提言についての見解と、今後の取組を問う
		3 中心市街地の活性化について	(1) まちぐわーの騒音防止や治安維持に際して、警察との連携が欠かせない。現在も通報があれば警察が注意しているが、根本的な改善にはつながっていない。警察が注意だけにとどまらない取り締まりに踏み込むためには、騒音防止条例を制定し、その中で市の役割と警察の実効性ある取り締まりにつなげる手順を定めることが有効ではないかと考える。見解を問う (2) 当面の対策として 2 月定例会で移動交番車の活用を提案したが、その後の取組を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 福祉行政について	今般の障がい者グループホームに対する指導監査に関しては、指定障害福祉サービス事業者等指定業務をはじめとした障害福祉サービス事業所と本市の関わり方が問われている。人員に見合わない業務量が改善されることなく、書面での申請通過後には、事業者とほとんど関わっていない状況を改善する必要がある。今回を機に、職員の増、及び那覇市障がい者自立支援協議会での情報収集、相談支援専門員に協力していただき利用者を取り巻く環境についてアンケートなどで聞き取り調査をするなどの方法で、障害福祉サービス事業所の実態把握を進め、改善策を講じるべきではないか。見解を問う
		5 人事行政について	本市でも法科大学院の卒業生など法律知識を有する職員の採用が進められてきたが、この度、職員から司法試験合格者が誕生したことが新聞で報じられた。記事によれば、将来は裁判官を目指して新たな道へと進まれる予定とのことだが、もし、役所に弁護士の雇用の枠があれば、行政の実務を知り、法律の専門家である心強い職員が誕生するのではないかと期待せずにはおれない。子どもの権利条例、性の多様性を尊重する条例、騒音防止条例、自治基本条例など、目指すべき那覇の姿を明文化したい事案が多数あることから、法務人材の活躍が期待される場面は多いと考える。ハラスメント事案を防ぐためのコンプライアンス研修も必要であり、役所内での業務に関する身近な法律相談でも、顧問弁護士に相談するよりも手前の初期対応を行うことにより、問題が大きくなる前に対応できるなど、同じ職場の仲間に弁護士がいることのメリットは大きいのではないか。弁護士資格を持つ法務職員（インハウスローヤー）の採用について見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		6 若者行政について	子どもの権利条例の策定に向け、子ども計画の策定が進められている。先日、なは一とで行われた子どもの権利を考えるシンポジウムでは、高校生もパネリストとして登壇し、子どもの権利について当事者の立場から意見を述べるなど、本市が子どもの権利について市民と共に考えていく姿勢がうかがえた。子どもが意見を言いやすい関係性を築くことや場の重要性を改めて感じ、ユースカウンスルや、ユースワーカーの配置を伴うユースセンターの設置が必要であるとの思いを強くした ユースワーカーの配置を伴うユースセンターの設置についての調査研究の進捗を問う
		7 防災行政について	(1) 那覇市内の河川で、大雨の影響で氾濫危険水位を越える事態となった事例はあったのか問う (2) 近年の状況を受け、県と協力し、または本市独自に内水氾濫の危険が確認されている箇所について何らかの防災施策をすべきではないか。見解を問う
		8 誰もが移動しやすいまちづくりについて	バリアフリー基本構想の策定時に、心のバリアフリーの取組をはじめとしたソフト面での取組の充実と、特定事業の充実を求めてきた。今回の改訂にあたり見直される点を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、選挙管理委員会委員長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
4	宇 根 良 也 (無所属クラブ) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 保育行政について 2 路上喫煙禁止地区について 3 福祉行政について	(1) 那覇市の地価高騰などにより、保育士の休職者や若い方々が市外に流出しているとの声を聞くが、保育士確保のための家賃補助メニューを活用して頂きたい。見解を伺う (2) 障がい児保育事業について障がい児２人に対し保育士１人の配置ができるよう改善していただきたい。見解を伺う (1) 那覇市の路上喫煙禁止地区において、観光地としての景観向上や受動喫煙防止の観点から、喫煙環境整備が求められる背景について、本市はどのように認識しているのか。また、市民や観光客から寄せられた路上喫煙に関する意見や苦情について、現状を伺う (2) 路上喫煙禁止地区において、吸い殻やゴミのポイ捨てが目立つという声がある中で、景観向上を図るために清掃員を配置することを提案するが、見解を伺う 第５次那覇市総合計画を見ると、市民の健康増進や地域連携の強化に向けて、素晴らしい施策が多く盛り込まれていると感じている。特に、第２章「地域で支えるまちづくり」では、地域社会を基盤に市民一人ひとりが支え合う取組が数多く記載されており、大変意義深いものと考えている。２月定例会でも提案したが、この取組の一環として朝のラジオ体操を計画に加えることを提案する。ラジオ体操は、市民の健康増進だけでなく、地域コミュニティの活性化や世代間交流の促進にも寄与する活動で、具体的には、活動場所の整備、機材購入の支援、新規活動立ち上げのための自治会や団体への助言など、行政としてどのような支援が可能か、見解を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 教育行政について	本市における令和5年度の児童生徒の暴力行為が過去最多とのことだが、その中でも特に小学校低学年の割合が特に多い。対応を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
5	幸 地 わかえ (公 明 党) 質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)	1 「子どもの権利を考えるシンポジウム」について 2 高齢者支援について 3 「家計改善支援事業」について 4 若者の就業支援について 5 宇栄原市営住宅の環境整備について 6 なはねこサポーターについて	今定例会の代表質問で、当シンポジウムは、「基調講演や登壇したパネリストの研究結果や発言内容等について、来場者から多くの反響を頂いている」との答弁だった。この内容を多くの方に知って頂くために、Y o u T u b e (ユーチューブ)での配信を要望する、見解を問う 代表質問で、独居高齢者の増加に伴う課題と具体的対策を伺った。例えば、市民の方より、本市が実施している高齢者向けの生活支援サービスや介護保険サービス外の要望があった場合、民間企業や自治会等と連携し、対策を講じるなどの対応は可能か問う 代表質問で、本事業の概要と利用者の数を伺った。本事業による効果を問う 沖縄市や宜野座村が実施している若者就業支援プログラム補助金制度を本市においても導入してはどうかという相談を受け、2024年4月、当局に検討を要請していたが、その後の検討状況を問う 令和6年8月に、宇栄原市営住宅10棟駐車場出口周辺のカーブミラー設置を依頼したが、その後の進捗を問う 代表質問で、本制度の導入に伴う課題を伺った。その中で、「管理が及ばない地域も多数あることから、引き続きサポーターの更なる拡充を目指す」とのことだが、今、登録しているサポーターが無理なく継続できる施策も講じる必要があると感じるが、見解を問う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		7 環境行政について	代表質問で、リサイクルの現状と課題を伺った。現在リサイクルをしていない、廃食油についても行ってはどうか、また、これまでの質問で、何度も「生ごみ処理機」の補助事業を提案したところ、「市域でのコンポスト購入補助については、一定の成果を達成したものと考えている」との答弁だったがその根拠を問う
		8 点群データを活用した取組について	代表質問で文化財保存について質問したが、点群データを使用して、文化財の保存に加えて、観光・教育・道路・行政DXなど、様々な分野において活用できると考える、見解を問う
		9 学校周辺における防犯カメラの設置について	令和4年9月定例会において、金城小学校と金城中学校の間にある通称フルーツ通りが、「夜になると暗くて危険なため防犯カメラを設置してほしい」と要望していた。今回、「中学校施設防犯カメラ設置事業」が補正予算案で計上されたが、フルーツ通りへの設置を要望する、見解を問う
		10 道路行政について	これまで道路管理課に依頼していた、①鏡水ふれあい会館前の私道整備状況と、②鏡原地域における事故多発地点の改善策及び鏡原中学校隣の漫湖テニスコート前の市道の白線の引き直しについて、その後の進捗を問う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
6	なかまつ 寛 (無所属クラブ)	1 歩道整備について	開南「せせらぎ通り」は現在、水が流れない過去の遺物となって歩道上の凹凸が歩行者の安全を阻害している。歩道整備を行うべきと思うが対応を伺う
		2 那覇ハーリー会場調査について	新たな会場選定調査の進捗状況を伺う
		3 古波蔵上線の進捗状況について	古波蔵上線は那覇市の都市計画・道路整備事業の中でも半世紀以上、地域住民は待たされて不便を余儀なくされているが進捗状況について問う
		4 デーブ・ロバーツ監督顕彰碑建立について	(1) 先般、デーブ・ロバーツ監督に那覇市特別栄誉賞が授与された。この偉業を称え顕彰碑を沖縄セルラースタジアム那覇に建立すべきと考えるが見解を伺う
			(2) この際、ロサンゼルス市に影響力のあるデーブ・ロバーツ監督のお力をお借りしてロサンゼルス市と那覇市との間に姉妹都市を締結すべきと思うが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
7	坂 井 浩 二 (なは自民・みんなの協働！)	1 防災行政について	本年 11 月初旬に発生した北部豪雨災害は河川の氾濫、床上浸水、土砂崩落など地域各所に大きな被害をもたらした 本市においても今一度市内全域のチェックと対応策が求められるが以下伺う (1) 本市内における災害警戒指定区域の種別、地域及び指定箇所数をそれぞれ伺う (2) 昨年、本市内自主避難所において、避難時の電源不備、老朽化等を指摘したが、現状改善はなされているか伺う (3) 崖地崩落に伴う支援助成制度が新設されたが運用状況を伺う (4) 災害救助法適用時の判断基準と即応体制はどうなっているか (5) 本員が提言していた消防署所適正配置計画の進捗状況を伺う (6) 消防団への資機材等充足の現状について伺う
		2 医療行政について	那覇市立病院小児科で「夜間オンライン診療」が開始されたが、意義及び運用状況を伺う
		3 インクルーシブ教育について	曙小学校において車イスを使用する小 2 児童の在籍クラスが 2 階に配置されており、登下校時を含めた校内移動に非常に不便を来しており、昇降機の設置を教育委員会に強く求めているがその後の対応を伺う

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
		4 協働による まちづくりに ついて	(1) 繁多川地域に立地する石田中学校正門隣に葬祭場建設が計画されており、地域住民や子ども達からは特に教育・子育ての観点上、大きな懸念と不安を抱える声が相次ぎ、2,669 人分の署名が本市に提出されるなど軋轢が生じている。これまでの経緯と本市の対応を伺う (2) 松島中校区内の那覇市障がい者福祉センター移転に伴う跡地利用について、多くの地域住民や自治会などから児童館設置等、地域住民のふれあいの場としての跡地利活用を求める声が上がっている。「松島中校区協働プラザ（仮称）」を設置してはどうか。本市の見解と今後の方向性を伺う 【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
8	栗 國 彰 (なは自民・みんなの協働！) 質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)	1 公園行政について 2 点字ごみ袋導入について 3 教育行政について 4 観光行政について	識名公園整備事業進捗状況について伺う 高齢化が進む中、市指定ゴミ袋に点字方式ゴミ袋を併用することで、市民生活向上を図り得ると思う。身障者（視覚障がい者、その他障がい者）が困っていることを解決して利便性向上を図る考えるが導入について伺う 修学旅行費補助について クルーズ船を利用した観光客誘致の現状と課題について (1) 新港９号岸壁又は新港ふ頭地にクルーズ船専用バース・ターミナル設置計画の概要などについて伺う (2) 観光通訳やガイドの配置、インフォメーションセンターの拡充策について伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長

一般質問（４日目） 令和６年１２月１０日（火）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
9	大 城 幼 子 (公 明 党)	1 障がい者福祉について	今年１１月、本市内にある障がい者グループホームで不正請求の疑いがあると報道された。以下伺う (１) 本市の対応と現状、今後について伺う (２) 本市の指導監査体制の現状と課題を伺う
		2 平和行政について	１２月４日の会派代表質問に関連して、次年度の「日本非核宣言自治体協議会」総会の本市開催計画を意義深いものと評価しているが、状況を伺う
		3 女性の就労について	今年９月から始まった「女性デジタル人材育成事業」の進捗状況を伺う
		4 保育行政について	(１) 令和５年度保育士等意識調査の結果を伺うとともに、本市の施策にどのように反映させていくのか伺う (２) 本市の病児、病後児保育について、現状と課題を伺う
		5 こども行政について	(１) 子どもたちの問題解決能力を高めるためのＣＡＰプログラムについて本市における取組状況を伺う (２) ユニセフの子どもにやさしいまちづくり（ＣＦＣＩ）の取組が日本型ＣＦＣＩとして２０２１年６月から開始している 概要と将来的に本市でも取り組むことを提案するが見解を伺う
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長

質問方式
総括質問方式
(質問席のみ)